

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120300	TEL	2998-9377
事業コード	120303	松葉道北岩岡線道路築造事業		計画道路整備課		
開始年度		16	年度	→	終了年度	29
グループ		庶務・用地・工務				

②事業の概要	事業の種別	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度	
	根拠法令	道路法、都市計画法	
	分野別計画・指針	所沢市街づくり基本方針(補助幹線道路)	
	関連・類似事業	北野下富線道路築造事業(当課)、所沢村山線道路築造事業(当課)	
	総合計画の体系	章 街づくり	節 道路
事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	新所沢の市街地から狭山市内の県道所沢狭山線を結ぶ延長2.860m、幅員16mの道路で、狭山市の都市計画道路と接続することにより、交通の利便性の向上とともに、交通渋滞緩和と安全確保を図るものである。		

③事業の内容

事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)

都市計画道路の建設を進め交通渋滞の緩和と周辺住民の安心安全の確保を図る。

事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応

土地価格の変動。これに合わせて事業期間や事業費など適切に対応している。

事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	2,330,587	事業の進捗率	平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要	
	事業費累計(平成27年度まで)	2,623,307	113 %	県道川越所沢線北所沢町交差点から都市計画道路北野下富線まで延長736mを整備区間として建設を進めている。 平成16年度から事業を開始し、平成23年度から工事に着手している。 平成28年度は当該事業に関連する隣接市道3-5号線の改良工事を施工する。 平成29年度以降については、残りの用地を取得し、雨水管の布設及び道路築造工事を施工して、供用開始を目指す。	
	平成28年度実施計画における事業費	平成28年度	24,421		114 %
		平成29年度	688,750		143 %
		平成30年度	0		143 %
現時点での総事業費予定額	3,318,292	平成 29 年度終了予定			

④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	予算現額		181,849	70,365	24,421	
	決算(見込み含む)		153,247	67,853		
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費		2.20 人	19,186	2.10 人	
	事業費合計		172,433	86,039		
	財源内訳	一般財源	37,227	1,956	6,521	
	国・県支出金	6,006	0	0		
	その他()	129,200	50,800	17,900		

⑤成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	市道3-5号線の及び県道川越所沢線の交通量	台	目標値			1割削減
				実績	2,944	3,012	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率		↑どちらかをチェックしてください
成果指標設定理由・目標値の考え方	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るため上記箇所に設置する。年1回測定、測定日平成27年7月8日、県道川越所沢線 朝)川越方面474台、所沢方面368台、夕)川越方面420台、所沢方面400台、市道3-5号線 朝)狭山方面331台、所沢方面351台、夕)狭山方面276台、所沢方面392台。 ※朝)AM7:30~8:30、夕)PM5:30~6:30						

⑥評価	事業計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒ <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし⇒	理由及び今後の方向性
	総事業費見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒(<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	県道川越所沢線から北野下富線までの延長736mについて、北野下富線の延長470mの区間(1工区)と併せて道路築造事業を実施している。生活道路への通過交通の流入を防ぎ、交通渋滞緩和と周辺住民の安全確保のため、重点的に整備を進めるもので、事業期間や事業費など財政事情等に応じて見直しを行う。
	上記評価の理由	現在施行中の延長736mの区間については、北野下富線の市道3-5号線から本路線までの延長470mの区間と同時に供用することが、交通渋滞緩和と周辺住民の安全確保に寄与することから、早期の開通が必要である。 社会経済状況により、事業費等に変更が生じることから総事業費の見直しを行うものである。	
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	建設部計画道路整備課 課長 村上 和雄

⑦環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化の防止	4-1大気汚染の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	緑の減少・都市計画道路の整備	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	有